



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月13日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東  
 コード番号 4301 URL http://www.amuse.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畠中 達郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	30,579	45.1	5,147	100.1	5,176	95.0	3,325	99.0
27年3月期第2四半期	21,078	27.6	2,571	27.6	2,654	26.7	1,670	40.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 3,445百万円 (101.2%) 27年3月期第2四半期 1,712百万円 (33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	385.32	—
27年3月期第2四半期	193.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	38,835	24,315	57.4
27年3月期	29,572	21,174	65.0

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 22,285百万円 27年3月期 19,236百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	18.6	5,600	42.7	5,640	38.7	3,650	36.6	422.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料6ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	9,311,760株	27年3月期	9,311,760株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	681,060株	27年3月期	680,249株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	8,630,981株	27年3月期2Q	8,632,922株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 平成27年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。なお、当該予想値の修正に関する事項は、平成27年10月30日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成27年11月17日（火）に機関投資家・アナリスト向け第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会にて配布する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当第2四半期連結累計期間の経営成績)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	増減	増減率 (%)
営業収入	21,078	30,579	9,501	45.1
営業利益	2,571	5,147	2,575	100.1
経常利益	2,654	5,176	2,521	95.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,670	3,325	1,654	99.0

【経済状況】

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、政府、日銀による継続した各種政策効果もあり、企業収益の改善や設備投資の持ち直しに加え、雇用や所得環境も改善傾向が続くなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、個人消費の回復遅れや中国経済の減速懸念など、依然景気を下押しするリスクも多く留意すべき状況が続いております。

【当社グループの事業概況】

当社グループの経営成績は営業収入305億7千9百万円（前年同四半期比45.1%増）、営業利益51億4千7百万円（前年同四半期比100.1%増）、経常利益51億7千6百万円（前年同四半期比95.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益33億2千5百万円（前年同四半期比99.0%増）となり、大型コンサートの実施により会場やオンラインショップで販売するグッズ販売収入も含め、音楽パッケージ販売、印税収入（新譜）などが好調に推移し、増収となり大幅な増益となりました。

<営業収入>

- ・ 当社アーティストによるイベント収入（大型コンサート）が増加
- ・ 商品売上収入（コンサートグッズ、音楽パッケージ）が増加
- ・ 印税収入（新譜）が増加

上記要因などにより増収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、新たな事業を開始したことにより、報告セグメントの区分について、従来の「アーティストマネージメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」の3区分より、新たに「プレイスマネージメント事業」を加え、4区分に変更いたしました。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネージメント事業	16,764	26,289	9,524	56.8
メディアビジュアル事業	2,973	1,381	△1,592	△53.5
コンテンツ事業	1,278	1,292	14	1.1
プレイスマネージメント事業	62	1,616	1,554	—
合計	21,078	30,579	9,501	45.1

(セグメント利益又は損失(△))

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	2,454	5,058	2,603	106.1
メディアビジュアル事業	142	143	1	1.3
コンテンツ事業	413	498	85	20.6
プレイスマネジメント事業	4	△67	△71	—
調整額	△442	△485	△43	—
合計	2,571	5,147	2,575	100.1

### 【アーティストマネジメント事業】

営業収入262億8千9百万円(前年同四半期比56.8%増)、セグメント利益50億5千8百万円(前年同四半期比106.1%増)となり、増収、大幅増益となりました。

#### 【主な事業】

- ・ イベント収入: <コンサート>
  - サザンオールスターズ(4-8月)、ONE OK ROCK(5-9月)のコンサートツアー
  - 福山雅治のスタジアムライブ(8月)、SEKAI NO OWARIスタジアムライブ(7月)
  - Perfumeのアニバーサリーライブ(9月)
  - BABYMETALのWORLD TOUR日本公演(6月)
  - flumpoolの野外ライブ(8月)
  - 星野源、Maydayの武道館ライブ(8月)
  - 3年目となった当社音楽アーティストが一堂に会した野外イベント
  - 「Amuse Fes 2015 BBQ in つま恋」(7月)
- <舞台・公演>
  - TEAM NACS第15回公演「悪童」(7-9月)
  - 熱海五郎一座「プリティウーマンの勝手にボディガード」(6月)
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、福山雅治(アルバム・シングルCD、ライブDVD)
- ONE OK ROCK(ライブDVD)
- ・ 印税収入(新譜): サザンオールスターズ(アルバムCD)、Perfume(ライブDVD)、BABYMETAL(ライブDVD)
- ・ 出演収入・CM収入: 福山雅治、大泉洋、深津絵里、吉高由里子、佐藤健、三浦春馬など

#### <営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサートの実施)が増加  
(前年同四半期は福山雅治(4-6月)、Perfume(8-9月)、flumpool(4-8月)のコンサートツアー、熱海五郎一座(6月)、黒執事(9月)などの舞台を実施)
- ・ 商品売上収入(コンサートグッズ、音楽パッケージ)が増加  
(前年同四半期はコンサートグッズ、flumpoolアルバムCDなど)
- ・ 印税収入(新譜)が増加  
上記要因などにより増収となりました。

#### <セグメント利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

### [メディアビジュアル事業]

営業収入13億8千1百万円(前年同四半期比53.5%減)、セグメント利益1億4千3百万円(前年同四半期比1.3%増)となり、減収増益となりました。

#### [主な事業]

- ・ 映像作品販売収入:「美女と野獣」などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入:佐藤健主演映画「るろうに剣心 京都大火編/伝説の最期編」劇場配給、DVD販売分配収入  
「美女と野獣」劇場配給分配収入など

#### <営業収入>

- ・ 大型作品の減少  
(前年同四半期は「永遠の0」(7月)、「そして父になる」(4月)、「カノジョは嘘を愛しすぎてる」(6月)などを販売)  
上記要因などにより減収となりました。

#### <セグメント利益>

劇場配給分配収入の増加などもあり若干の増益となりました。

### [コンテンツ事業]

営業収入12億9千2百万円(前年同四半期比1.1%増)、セグメント利益4億9千8百万円(前年同四半期比20.6%増)となり、増収増益となりました。

#### [主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCKなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

#### <営業収入>

原盤印税の増加により若干の増収となりました。

#### <セグメント利益>

上記要因などにより増益となりました。

### [プレイスマネージメント事業]

営業収入16億1千6百万円(前年同四半期に比べ、15億5千4百万円の増収)、セグメント損失6千7百万円(前年同四半期は4百万円のセグメント利益)となり、増収減益となりました。

#### [主な事業]

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

#### <営業収入>

東京ワンピースタワーの入場料収入、グッズ販売収入により増収となりました。

#### <セグメント利益又は損失>

東京ワンピースタワーの入場料収入が低調であったため減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)	増減
総資産 (百万円)	29,572	38,835	9,263
純資産 (百万円)	21,174	24,315	3,141
自己資本比率 (%)	65.0	57.4	△7.6
1株当たり純資産 (円)	2,228.65	2,582.08	353.43

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,185	9,419	7,234
投資活動によるキャッシュ・フロー	349	△2,248	△2,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137	△239	△102

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は388億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ92億6千3百万円増加いたしました。主な増加要因としては、流動資産「現金及び預金」及び流動資産「受取手形及び営業未収入金」の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は145億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ61億2千2百万円増加いたしました。主な要因としては、流動負債「営業未払金」及び流動負債「未払法人税等」の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は243億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億4千1百万円増加いたしました。主な増加要因としては、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上などによるものであります。この結果、自己資本比率は57.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ70億7千8百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には184億6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は94億1千9百万円(前年同四半期は21億8千5百万円の獲得)となりました。

これは、主に営業債権の増加による資金減少要因等はありませんでしたが、税金等調整前四半期純利益及び営業債務の増加に伴う資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は22億4千8百万円(前年同四半期は3億4千9百万円の獲得)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得及び定期預金の預入による資金減少要因等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億3千9百万円(前年同四半期は1億3千7百万円の使用)となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に公表しました通期業績予想を修正しております。詳しくは平成27年10月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結累計期間において、Amuse Korea Inc.及びブラッセルズ㈱は重要性が増したため連結の範囲に含めており、CROONER PTE. LTD. は新たに株式を取得したことにより連結の範囲に含めております。また、連結子会社でありました㈱エアーズは清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。



3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	12,356,438	20,435,416
受取手形及び営業未収入金	4,406,438	5,446,519
商品及び製品	1,075,197	1,536,909
仕掛品	1,202,381	1,395,701
貯蔵品	47,147	78,403
その他	2,133,432	1,229,234
貸倒引当金	△118,190	△111,363
流動資産合計	21,102,845	30,010,820
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	2,212,329	2,077,548
土地	1,606,621	1,610,300
その他(純額)	983,136	934,217
有形固定資産合計	4,802,087	4,622,066
<b>無形固定資産</b>		
のれん	—	308,323
その他	210,916	188,255
無形固定資産合計	210,916	496,578
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,236,264	1,346,396
その他	2,052,518	2,209,320
貸倒引当金	△3,809	△3,815
投資その他の資産合計	3,284,973	3,551,902
固定資産合計	8,297,977	8,670,546
<b>繰延資産</b>		
開業費	172,034	154,539
繰延資産合計	172,034	154,539
資産合計	29,572,857	38,835,906

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	5,258,027	10,288,491
未払法人税等	249,561	1,829,655
役員賞与引当金	31,000	—
返品調整引当金	14,900	3,300
ポイント引当金	489	15,672
その他	1,871,533	1,346,831
流動負債合計	7,425,511	13,483,950
固定負債		
役員退職慰労引当金	16,308	16,308
退職給付に係る負債	915,437	969,739
その他	40,775	50,072
固定負債合計	972,521	1,036,121
負債合計	8,398,033	14,520,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,950	1,694,950
利益剰余金	16,820,538	19,861,946
自己株式	△929,731	△932,912
株主資本合計	19,173,582	22,211,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,787	34,882
為替換算調整勘定	21,240	38,430
その他の包括利益累計額合計	63,027	73,312
非支配株主持分	1,938,214	2,030,712
純資産合計	21,174,824	24,315,834
負債純資産合計	29,572,857	38,835,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業収入	21,078,570	30,579,942
営業原価	16,615,947	23,289,291
営業総利益	4,462,623	7,290,650
返品調整引当金繰入額	1,200	—
返品調整引当金戻入額	—	11,600
差引営業総利益	4,461,423	7,302,250
販売費及び一般管理費	1,889,674	2,154,989
営業利益	2,571,748	5,147,261
営業外収益		
受取利息	4,126	5,156
受取配当金	15,145	6,242
為替差益	41,535	—
受取手数料	7,333	8,237
事業組合投資利益	48,701	—
持分法による投資利益	—	77,397
その他	2,985	14,893
営業外収益合計	119,826	111,927
営業外費用		
為替差損	—	81,998
持分法による投資損失	36,340	—
固定資産除却損	287	370
事業組合投資損失	—	174
その他	235	177
営業外費用合計	36,863	82,721
経常利益	2,654,711	5,176,467
税金等調整前四半期純利益	2,654,711	5,176,467
法人税、住民税及び事業税	1,031,920	1,789,817
法人税等調整額	△64,544	△48,770
法人税等合計	967,375	1,741,047
四半期純利益	1,687,336	3,435,420
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,526	109,760
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,670,809	3,325,659

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,687,336	3,435,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,130	△6,905
為替換算調整勘定	18,794	17,190
その他の包括利益合計	24,924	10,284
四半期包括利益	1,712,260	3,445,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,695,734	3,335,944
非支配株主に係る四半期包括利益	16,526	109,760

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,654,711	5,176,467
減価償却費	102,415	312,859
のれん償却額	—	14,208
繰延資産償却額	—	17,494
貸倒引当金の増減額(△は減少)	37,617	△8,502
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,000	△31,000
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,200	△11,600
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	15,183
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46,983	42,454
受取利息及び受取配当金	△19,272	△11,398
持分法による投資損益(△は益)	36,340	△77,397
事業組合投資損益(△は益)	△48,701	174
固定資産除却損	287	370
営業債権の増減額(△は増加)	△1,114,358	△924,200
たな卸資産の増減額(△は増加)	301,672	△666,846
営業債務の増減額(△は減少)	1,919,735	5,022,090
未払消費税等の増減額(△は減少)	72,527	93,932
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△891,124	194,532
その他の流動負債の増減額(△は減少)	9,006	45,636
その他	△238,267	△29,376
小計	2,845,774	9,175,083
利息及び配当金の受取額	10,826	9,590
法人税等の支払額	△692,833	△248,457
法人税等の還付額	21,889	483,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,185,655	9,419,973
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,500,000	△2,000,468
定期預金の払戻による収入	2,500,936	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△183,608	△677,018
無形固定資産の取得による支出	△49,342	△63,958
子会社株式の取得による支出	△200,459	△355,216
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△356,458
貸付けによる支出	△227,620	△1,173
貸付金の回収による収入	12,729	188,080
その他	△3,055	17,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	349,580	△2,248,967
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△2,098	△3,181
非支配株主からの払込みによる収入	73,500	—
配当金の支払額	△192,974	△215,026
非支配株主への配当金の支払額	△10,944	△17,262
その他	△4,718	△3,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,236	△239,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,265	△14,193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,420,265	6,917,564
現金及び現金同等物の期首残高	7,024,401	11,327,663
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	160,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,444,666	18,406,172

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	16,764,358	2,973,307	1,278,870	62,034	21,078,570	—	21,078,570
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	40,795	128,591	64,459	26,748	260,594	△260,594	—
計	16,805,154	3,101,898	1,343,329	88,782	21,339,164	△260,594	21,078,570
セグメント利益	2,454,632	142,175	413,120	4,439	3,014,368	△442,620	2,571,748

(注) 1. セグメント利益の調整額△442,620千円には、セグメント間取引消去7,748千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△450,368千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	26,289,170	1,381,195	1,292,973	1,616,602	30,579,942	—	30,579,942
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	39,130	107,995	109,359	31,752	288,238	△288,238	—
計	26,328,301	1,489,190	1,402,333	1,648,355	30,868,180	△288,238	30,579,942
セグメント利益 又は損失(△)	5,058,608	143,975	498,207	△67,540	5,633,249	△485,988	5,147,261

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△485,988千円には、セグメント間取引消去5,129千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△491,118千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「アーティストマネージメント事業」において、CROONER P.T.E.L.T.D.の株式を取得したことにより  
のれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は、347,937千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度に新たな事業を開始したことにより、報告セグメントの区分について、従来の「アーティストマネージメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」の3区分より、新たに「プレイスマネージメント事業」を加え、4区分に変更いたしました。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。